

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 大成温調株式会社

コード番号 1904 URL <https://www.taisei-oncho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 水谷 憲一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 岡田 浩二 TEL 03-5742-7300

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	12,121	34.0	468	-	500	200.0	12	34.3
2023年3月期第1四半期	9,045	1.5	△76	-	166	-	9	-

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 338百万円 (29.9%) 2023年3月期第1四半期 260百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	2.22	-
2023年3月期第1四半期	1.56	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	43,215	25,010	57.8	4,304.50
2023年3月期	41,175	25,256	61.3	4,309.72

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 24,998百万円 2023年3月期 25,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	82.00	82.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	0.00	-	84.00	84.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,500	10.8	1,600	△7.7	1,800	△9.9	1,200	△18.3	204.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社グループは年次での業績管理を実施しているため、第2四半期連結累計期間の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	6,882,487株	2023年3月期	6,882,487株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,074,858株	2023年3月期	1,024,808株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	5,834,011株	2023年3月期1Q	6,206,241株

(注) 当社は株式報酬制度を導入しており、期末自己株式数には、当該株式報酬制度の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式（2024年3月期1Q 38,600株、2023年3月期38,600株）を、また期中平均株式数を算定するための控除する自己株式数には、当該信託口が保有する当社株式（2024年3月期1Q 38,600株、2023年3月期1Q38,600株）を含めて計算、記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9
3. 補足情報	9
個別受注工事高、完成工事高、繰越工事高の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による停滞感から回復基調に進んでいる一方で、ウクライナ情勢悪化による原材料価格の高騰、さらには物価上昇圧力の高まりなどから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、概ね堅調に推移しており、建設投資についても持ち直しの傾向が見受けられるものの、建設資材や労務費の高騰、建設従事者不足および人材の高齢化など、引き続き注視が必要な状況にあります。

こうした状況の中、当社グループは、中期経営計画「LIVZON DREAM 2030 1st half!」を策定し、3つの基本方針「基盤事業の深耕」「成長への投資」「経営基盤の整備」を推進し、『コア事業の収益性改善』と『成長のための土台作り』を進めております。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期比49.5%増の263億66百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は前年同四半期比34.0%増の121億21百万円となり、営業利益は4億68百万円（前年同四半期は営業損失76百万円）、経常利益は前年同四半期比200.0%増の5億0百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比34.3%増の12百万円となりました。

当社グループの売上高は、通常の営業形態として、連結会計年度末に完成する工事について多額になる傾向があり、一方、販売費及び一般管理費等の固定費は各四半期にほぼ均等に発生します。時期に偏りのない安定した売上と利益の確保に努めておりますが、利益が連結会計年度末に偏る季節的変動があります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 日本

売上高につきましては前年同四半期比29.6%増の88億28百万円となり、セグメント利益は3億6百万円（前年同四半期はセグメント損失85百万円）となりました。

② 米国

売上高につきましては前年同四半期比65.0%増の31億69百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比493.8%増の2億39百万円となりました。

③ 中国

売上高につきましては前年同四半期比69.4%減の86百万円となり、セグメント損失は1億7百万円（前年同四半期はセグメント損失45百万円）となりました。

④ オーストラリア

売上高につきましては前年同四半期比26.1%増の37百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比33.6%増の30百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は432億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億39百万円の増加となりました。その主な要因といたしましては、現金及び預金が31億9百万円、のれんが19億25百万円それぞれ増加し、受取手形・完成工事未収入金等が26億94百万円減少したこと等によるものです。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は182億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億85百万円の増加となりました。その主な要因といたしましては、短期借入金が27億47百万円増加したこと等によるものです。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は250億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億46百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、利益剰余金が4億70百万円減少し、その他有価証券評価差額金が2億78百万円増加したこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月11日に公表いたしました「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」から変更はありません。なお、業績修正が必要と判断された場合には、速やかに別途お知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,700,111	14,809,434
受取手形・完成工事未収入金等	13,320,590	10,626,494
電子記録債権	2,200,239	1,798,739
有価証券	143,286	147,434
未成工事支出金	193,524	209,680
商品	23,789	21,221
原材料	269,443	278,622
その他	795,157	912,613
貸倒引当金	△59,053	△62,583
流動資産合計	28,587,090	28,741,657
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,996,569	4,048,862
機械装置及び運搬具	1,630,667	1,683,344
土地	4,240,204	4,263,386
建設仮勘定	115,696	131,669
その他	445,484	455,631
減価償却累計額	△3,904,992	△3,989,387
有形固定資産合計	6,523,630	6,593,506
無形固定資産		
のれん	—	1,925,230
その他	276,341	256,679
無形固定資産合計	276,341	2,181,909
投資その他の資産		
投資有価証券	4,134,324	4,141,792
長期貸付金	5,908	7,194
退職給付に係る資産	69,816	52,776
繰延税金資産	532,603	389,224
その他	1,253,888	1,315,373
貸倒引当金	△207,688	△207,781
投資その他の資産合計	5,788,852	5,698,580
固定資産合計	12,588,824	14,473,996
資産合計	41,175,915	43,215,653

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,682,160	4,769,846
電子記録債務	3,760,964	4,224,694
短期借入金	—	2,747,041
未払法人税等	44,749	384,986
未成工事受入金	3,339,379	3,511,426
賞与引当金	389,437	170,288
完成工事補償引当金	37,923	37,600
工事損失引当金	128,857	110,048
その他	2,358,870	2,103,050
流動負債合計	15,742,344	18,058,983
固定負債		
その他	177,361	146,480
固定負債合計	177,361	146,480
負債合計	15,919,706	18,205,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,195,057	5,195,057
資本剰余金	5,132,677	5,132,677
利益剰余金	15,086,821	14,616,293
自己株式	△1,503,704	△1,605,154
株主資本合計	23,910,851	23,338,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	500,308	778,558
為替換算調整勘定	840,801	890,373
退職給付に係る調整累計額	△7,020	△8,884
その他の包括利益累計額合計	1,334,088	1,660,046
新株予約権	11,268	11,268
純資産合計	25,256,208	25,010,189
負債純資産合計	41,175,915	43,215,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高		
完成工事高	8,823,324	11,830,322
その他の事業売上高	222,567	291,491
売上高合計	9,045,892	12,121,814
売上原価		
完成工事原価	7,760,029	10,176,372
その他の事業売上原価	149,966	208,028
売上原価合計	7,909,995	10,384,400
売上総利益		
完成工事総利益	1,063,295	1,653,950
その他の事業総利益	72,601	83,463
売上総利益合計	1,135,896	1,737,413
販売費及び一般管理費	1,212,439	1,268,944
営業利益又は営業損失(△)	△76,543	468,468
営業外収益		
受取利息及び配当金	30,196	40,174
為替差益	150,021	33,091
受取保険金	66,422	18,255
その他	16,264	9,268
営業外収益合計	262,904	100,788
営業外費用		
支払利息	1,255	902
工事補修費	13,501	62,659
その他	4,819	5,302
営業外費用合計	19,575	68,863
経常利益	166,784	500,393
特別利益		
投資有価証券売却益	—	72,528
特別利益合計	—	72,528
特別損失		
投資有価証券評価損	—	358,370
関係会社整理損失引当金繰入額	20,000	—
損害賠償金	33,182	—
特別損失合計	53,182	358,370
税金等調整前四半期純利益	113,602	214,551
法人税等	103,946	201,583
四半期純利益	9,655	12,967
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,655	12,967

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）
四半期純利益	9,655	12,967
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,714	278,249
為替換算調整勘定	225,545	43,612
退職給付に係る調整額	860	△1,864
持分法適用会社に対する持分相当額	37,591	5,959
その他の包括利益合計	251,283	325,957
四半期包括利益	260,938	338,925
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	260,938	338,925

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年5月18日開催の取締役会決議に基づき、2023年5月19日に東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）により、自己株式50,000株を取得いたしました。この結果、単元未満株式の買取りによる増加も含め、当第1四半期連結累計期間において自己株式は101,449千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において1,605,154千円となっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年6月30日）

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	日本	米国	中国	オースト ラリア				
売上高								
一時点で移転される財	1,638,238	—	—	—	—	1,638,238	—	1,638,238
一定の期間にわたり移 転される財	5,153,929	1,921,072	282,021	—	—	7,357,024	—	7,357,024
顧客との契約から生じ る収益	6,792,168	1,921,072	282,021	—	—	8,995,262	—	8,995,262
その他の収益	21,048	—	—	29,580	—	50,629	—	50,629
外部顧客への売上高	6,813,217	1,921,072	282,021	29,580	—	9,045,892	—	9,045,892
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	6,813,217	1,921,072	282,021	29,580	—	9,045,892	—	9,045,892
セグメント利益又は損失 (△)	△85,542	40,261	△45,848	22,607	△8,030	△76,552	9	△76,543

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	米国	中国	オースト ラリア			
売上高							
一時点で移転される財	1,962,407	—	—	—	1,962,407	—	1,962,407
一定の期間にわたり移 転される財	6,844,760	3,169,819	86,195	—	10,100,775	—	10,100,775
顧客との契約から生じ る収益	8,807,167	3,169,819	86,195	—	12,063,182	—	12,063,182
その他の収益	21,316	—	—	37,314	58,631	—	58,631
外部顧客への売上高	8,828,484	3,169,819	86,195	37,314	12,121,814	—	12,121,814
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,828,484	3,169,819	86,195	37,314	12,121,814	—	12,121,814
セグメント利益又は損失 (△)	306,713	239,087	△107,576	30,199	468,424	43	468,468

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、ホライズン5株式会社の発行済株式の全てを取得し、同社およびその子会社であるウッドテック株式会社を連結の範囲に含めたことにより、日本セグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において1,925,230千円であります。なお、のれんは取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

3. 補足情報

(個別受注工事高、完成工事高、繰越工事高の状況)

期別	区分	前期繰越工事高 (千円)	当期受注工事高 (千円)	計 (千円)	当期完成工事高 (千円)	次期繰越工事高 (千円)
前第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	新築工事	20,542,701	6,598,288	27,140,989	3,121,636	24,019,353
	改修・保守修理等	6,525,090	5,479,979	12,005,069	3,504,369	8,500,700
	計	27,067,791	12,078,267	39,146,058	6,626,005	32,520,053
当第1四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	新築工事	29,612,567	8,787,006	38,399,574	3,684,408	34,715,166
	改修・保守修理等	7,602,319	9,410,543	17,012,862	4,904,012	12,108,850
	計	37,214,887	18,197,549	55,412,437	8,588,420	46,824,016
前事業年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)	新築工事	20,542,701	24,707,879	45,250,580	15,638,013	29,612,567
	改修・保守修理等	6,525,090	18,374,800	24,899,890	17,297,570	7,602,319
	計	27,067,791	43,082,679	70,150,471	32,935,583	37,214,887

- (注) 1. 前事業年度以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合、当期受注工事高にその増減額が含まれております。したがって、当期完成工事高にもかかる増減額が含まれております。
2. 次期繰越工事高は(前期繰越工事高+当期受注工事高-当期完成工事高)に一致しております。